

N8190-163/164 Fibre Channel コントローラ ファームウェア適用手順・注意事項(iStorage NS)

N8190-163/164 のファームウェアバージョンが「12.8.528.12」より古い場合は、Starter Pack DVD からのファームウェアアップデート後の再起動ができずに停止することがあります。

「3. ファームウェアのアップデート」を実施する前に、本手順書の【ファームウェアバージョン確認方法】を参照して、N8190-163/164 のファームウェアバージョンが「12.8.528.12」より古い場合は本手順書の【N8190-163/164 無効化】を参照して、N8190-163/164 を無効化した後に「3. ファームウェアのアップデート」の手順を実施してください。ファームウェアのアップデート後に本手順書の【N8190-163/164 有効化】を参照して N8190-163/164 を有効化して、StarterPack 適用を継続してください。

また、ファームウェアバージョンが「14.2.589.5」の場合は接続したストレージデバイスが認識できないことがあります。StarterPack 適用完了後に、本手順書の【適用手順】を参照して、「14.0.499.29」のファームウェアを適用してください。

適用後は本手順書の【ファームウェアバージョン確認方法】を参照して、ファームウェアバージョンが「**14.0.499.29**」となっていることを確認してください。

【ファームウェアバージョン確認方法】

下記のいずれかの方法でファームウェアバージョンを確認することができます。

<システムユーティリティ(System Utilities)での確認方法>

- 1) POST で F9 を押してシステムユーティリティ(System Utilities)を起動します。
- 2) システム構成(System Configuration)を選択します。
- 3) 対象の Fibre Channel コントローラを選択します。
N 型番と「製品名」の対応は以下の通りです。
N8190-163/164: SN1200E
- 4) アダプター情報を表示する(Display Adapter Info)を選択します。
- 5) ファームウェアバージョン(Firmware version)を確認します。

< iLO WEB インターフェースからの確認方法 >

- 1) マネージメント LAN 経由で接続し、iLO メニューを表示させ、「ファームウェア & OS ソフトウェア」を選択してください。
- 2) 「製品名」「ファームウェアバージョン」が表示されます。
対象となる製品の製品名とファームウェアバージョンを確認してください。
N 型番と「製品名」の対応は以下の通りです。
N8190-163/164: SN1200E

【N8190-163/164 無効化】

- 1) POST で F9 を押してシステムユーティリティ(System Utilities)を起動します。
- 2) システム構成(System Configuration)を選択します。
- 3) BIOS/プラットフォーム構成(RBSU) (BIOS/Platform Configuration (RBSU))を選択します。
- 4) PCIe デバイス構成 (PCIe Device Configuration)を選択します。
- 5) 対象の Fibre Channel コントローラが搭載されたスロットを選択します。
N 型番と「製品名」の対応は以下の通りです。
N8190-163/164: SN1200E
- 6) PCIe デバイスが無効 (PCIe Device Disable) の設定値を自動 (Auto) から無効 (Disabled) に変更します。
- 7) F10 を押して設定を保存します。
- 8) PCIe デバイス構成 (PCIe Device Configuration)に戻って、同様の手順で全ての対象 Fibre Channel コントローラが搭載されたスロットを無効 (Disabled) に変更します。
- 9) 全ての対象 Fibre Channel コントローラが搭載されたスロットを無効 (Disabled) にして設定を保存したら終了を押して本体装置を再起動します。

【N8190-163/164 有効化】

- 1) POST で F9 を押してシステムユーティリティ(System Utilities)を起動します。
- 2) システム構成(System Configuration)を選択します。
- 3) BIOS/プラットフォーム構成(RBSU) (BIOS/Platform Configuration (RBSU))を選択します。
- 4) PCIe デバイス構成 (PCIe Device Configuration)を選択します。
- 5) 【N8190-163/164 無効化】で無効化したスロットを選択します。
- 6) PCIe デバイスが無効 (PCIe Device Disable) の設定値を無効 (Disabled) から自動 (Auto) に変更します。
- 7) F10 を押して設定を保存します。
- 8) PCIe デバイス構成 (PCIe Device Configuration)に戻って、同様の手順で【事前準備】で無効化した全てのスロットを自動 (Auto) 設定に戻します。
- 9) 【事前準備】で無効化した全てのスロットを自動 (Auto) にして設定を保存したら、終了を押して本体装置を再起動します。

【適用手順】

- (1) Trusted Platform Module(TPM)を搭載している場合、システムユーティリティから「TPM Visibility」を[Hidden]にします。システムユーティリティから設定する手順は「メンテナンスガイド（共通編）」を参照してください。
設定を変更したら、サーバを再起動します。
- (2) サーバに管理者権限でログインして Starter Pack S8.10-011.04 の/16g_fc/e/win/に収録された exe ファイルを任意のフォルダにコピーします。
- (3) コピーした exe ファイルをダブルクリックします。
- (4) 「パッケージセットアップ」ウィンドウが起動するので、バージョンが「2023.03.01」となっていることを確認して「インストール」をクリックします。
- (5) メッセージが表示されますので再度「インストール」をクリックします。
- (6) インストールが実行されます。完了まで数分かかります。途中ウィンドウのタイトルバーに「セットアップ(応答なし)」と表示されることがありますが、そのままお待ちください。
- (7) インストールが完了したことを確認したら「閉じる」をクリックします。
- (8) システム再起動が要求されたら「はい」をクリックして再起動します。
再起動が要求されない場合は手動で再起動します。
※ 複数の対象となる型番の Fibre Channel コントローラをご使用の場合、上記手順を実行することで全ての対象となる型番の Fibre Channel コントローラに対してファームウェアが適用されます。
- (9) 【ファームウェアバージョン確認方法】を参照して、ファームウェアバージョン(Firmware version)が「14.0.499.29」となっていることを確認してください。
- (10) 手順(1)で設定を変更している場合は、設定を元に戻してサーバを再起動します。